

ブロント スカイリフト S56XR 54m (拡張デッキ仕様)



● 製品比較表

BRONTO S56XR は、作業台高さだけでなく、高速道路も自由に走れる「新規格車」であり、高所作業車構造規格に適合しているのも大きな特徴です。

項目/型式	S56XR	AT-500CG	Skybox SS-150
メーカー名	Bronto Skylift (ブロント・スカイリフト)	(株)タダノ	クレーン車 + 作業台
最大作業台高	54m	50m	取付けるクレーン車の能力による
最大積載量	600Kg	400Kg	作業台アタッチメントの能力 (SS-150は300kg)
高所作業車構造規格	◎ 高所作業車	◎ 高所作業車	✕ クレーンの用途外使用。クレーン等 (安全規則第2条と第73条を参照)
高速自動車国道	◎ 新規格車・自由に走行可能	✕ 通行不可	✕ 通行不可 (クレーン車)
特殊車両通行許可	新規格車。重さ指定道路を自由に走行可能。その他の道路は許可申請が必要。	許可申請が必要	許可申請が必要
通行条件	なし	C条件 徐行、連行禁止及び当該車輛の前後に誘導車を配置することを条件とする。	D条件 徐行、連行禁止及び当該車輛の前後に誘導車を配置することを条件とする。通行できる時間制限がある。
保険	◎ 搭乗者障害保険に加入している (フジ建機リース(株)総合補償制度)	◎ 該当レンタル会社に要問合せ	✕ 通常の搭乗者障害保険には加入不可
その他			現場で作業台を組立・解体する必要がある(そのまま走行できません)。

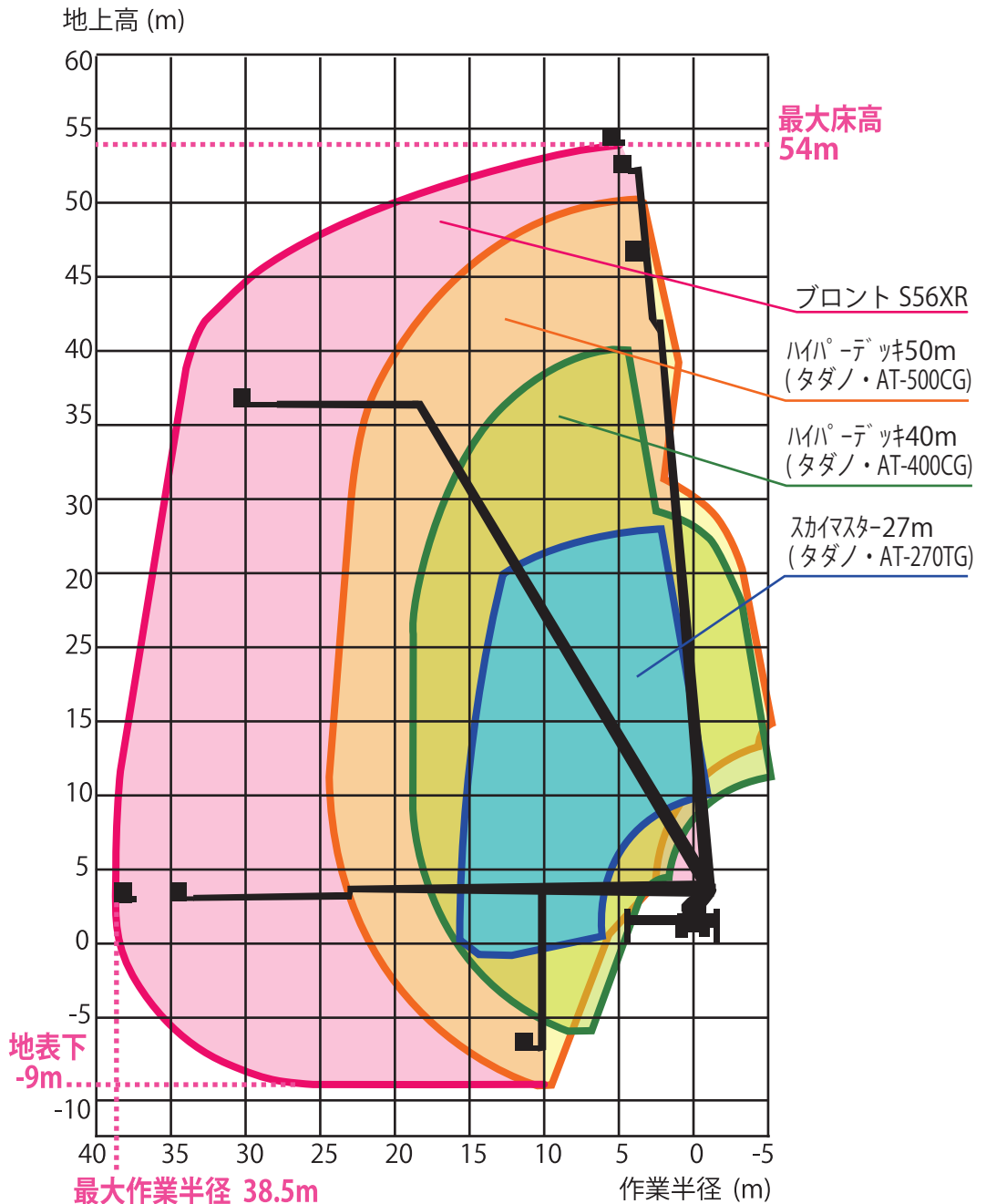
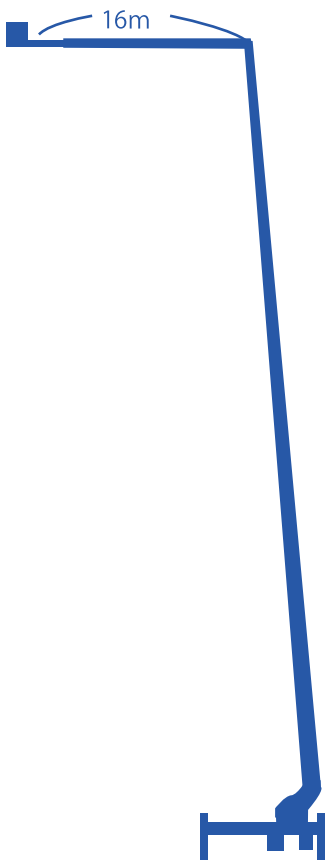
● 高所作業車・最大作業範囲比較図

(S56XR・AT-500CG・AT-400CG・AT-270TG)

BRONTO S56XR の大きな特徴は、広い作業範囲にあります。

最大作業半径 38.5mはもちろんのこと、アップアンドオーバーが 16mもあり、高いビルを越えた奥へブームを伸ばして作業できるなど、高所での作業範囲の広さも大きな特徴です。

◆アップ・アンド・オーバーが 16m!
高いビルを越えて、奥の作業も可能です。



※ S56XR は、最大積載荷重 120kg 時